

職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

令和 2 年 2 月

放課後等デイサービス おとのわ

内容	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	根拠の記載
環境体制	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切か	○			プレイルーム、訓練室、和室、勉強室、静養室を設け状況に応じて使い分けている
	② 職員の配置数は適当か	○			児童指導員、保育士を常時4名以上、指導スタッフとして配置している
	③ 事業所の設備等について配慮が適切になされているか	○			安心して楽しく過ごせるよう遊具玩具を整備し、トイレ2か所、園庭、砂場、キッチンを設置している
業務改善	④ 業務改善を進めるために、目標設定と振り返りに広く職員が参画しているか	○			同じ意図をもって支援に当たれるよう月一度の職員会議で意見交換、情報共有を図っている
	⑤ 保護者アンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けアンケートを実施し、評価や意見から業務改善に対応している
	⑥ 自己評価結果を、ホームページで公開しているか	○			HP、事業所内設置にて公開している
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○	今後、第三者の視点でご意見や感想をいただき、業務改善に役立てたい。
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	○	○		内部研修、外部研修で質の向上、改善のヒントに役立てたい
適	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を汲み取り、客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			モニタリング時には必ず聞き取り調査を行い、毎回の支援の指標にしている
	⑩ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			全利用者の支援方針をスタッフ全員で共有・確認をおこなっている
	⑪ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			子供たちの状態や状況を見ながら、様々なプログラムを提供している
	⑫ 平日、休日、長期休暇に応じて、活動や課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○	○		休日、長期休暇時は、平日に出来ない外出等の支援をしている。利用者に応じもっと細やかな活動設定を行っていく

切な支援の提供

⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者の要望や聞き取りをもとに、個別・小集団等にて指導計画を立案している
⑭	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			必ずその日に利用する子供たちの指導担当を割り振り、役割分担を確認している
⑮	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			毎日フィードバックを行い、気づき、問題点などについて申し送りを共有化している
⑯	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録をつけ、スタッフ全員が供覧できるようにクラウド化している
⑰	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			6か月に一度、聞き取り調査など保護者との面談のを行っている。
⑱	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	○			可能な限り、管理者もしくは児童発達支援管理責任者が参加している
⑲	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適宜行っているか	○			随時情報提供していただき、毎回送迎時間、場所等の確認を行っている
⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			現在、医療的ケアの必要な児童の利用なし。必要に応じて関係機関との連携を整える
㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			随時情報提供していただき、場合によっては会議を開き、意見交換をしている
㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい者福祉サービス事業所等へ移行支援する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしている				該当者なし。 利用に際しての全記録を保管しているので、要望あればいつでも提供できる

	⑳ 児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			随時連絡を取り合い、情報の共有を図り支援にあたっている
	㉑ 児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	障がいのない子どもとの交流は今のところ設けていない。今後、イベント等で交流がもてるよう考えていく
	㉒ 地域自立支援協議会等へ積極的に参加している	○			宮城県東部地域自立支援協議会には定期的に参加している
	㉓ 日頃から子どもの状況を伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎の際、毎回保護者の方へ状況を報告し、連絡帳にも活動の様子を記している
保護者への説明責任	㉔ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に詳細説明を行い、理解を得られるようしている
	㉕ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			児発管、児童指導員、保育士、作業療法士で随時相談や適切な助言を行っている
	㉖ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	様々な考えがあり、保護者同士の交流を望んでいないご家庭もある。子育てや障がいに関する講演会等を保護者の方へ商會、参加を促すような取り組みで支援していく
	㉗ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者へ周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			管理者を中心に、相談及び申し入れに対して即時対応するよう徹底している
	㉘ 定期的に会報等を発行し、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			HP、Instagramによる情報発信をしている
	㉙ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			必ず施錠している書庫に保管している
	㉚ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			毎回送迎時に、必ず保護者との直接会話の時間をつくっている

	③④	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている			○	今後、誰もが参加できるような催しを考えていく
非常時等の対応	③⑤	危機管理マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			契約時に詳細説明を行い、いつでも閲覧できるよう事業所内に配置している
	③⑥	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救助、その他必要な訓練を行っているか	○			1～2か月に一度避難訓練を実施している
	③⑦	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			周知徹底している。研修会にも今後参加させたい
	③⑧	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			全スタッフいつでも閲覧できるようファイリングしている
安全管理	③⑨	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			アレルギー一覧を作成し、チェックしながらおやつを提供している
	④⑩	事前に服薬やてんかん発作等のこどもの状態を確認しているか	○			契約時に保護者様から聞き取りを行い、服薬説明書をファイリングしている
	④⑪	ケガや事故があった場合、保護者に報告しているか	○			即時に報告している
	④⑫	苦情の受付や解決の仕組みについて、わかりやすく掲示しているか	○			契約書類に記載し、詳細説明をおこなっている
満足度	④⑬	不満や要望を気軽に話すことが出来るよう工夫している	○			随時、面談等の要望があれば対応し、気軽に連絡できるLINEやメールでのやりとりもおこなっている
	④⑭	年に一度以上、満足度を把握しているか	○			今後も年に一度以上、満足度を把握していく
	④⑮	昨年より、施設は良くなっているか				